

第36回

福島県建築文化節

(令和元年度)

—— うるおいとやすらぎの

美しいまちづくりを求めて ——



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

福島県・(株)福島民報社・(一社)福島県建設業協会・(公社)福島県建築士会

(一社)福島県建築士事務所協会・福島県建築設計協同組合
(一社)福島県空調衛生工事業協会・(一社)福島県電設業協会
(一財)ふくしま建築住宅センター・(公社)日本建築家協会福島地域会

福島県市長会・福島県町村会

《審査委員》

審査委員長	長澤 悟	東洋大学名誉教授			
	渡部 和生	建築家・日本大学工学部特任教授	手塚 由比	建築家	
	早川 博明	福島県立美術館長	岡部 明子	東京大学大学院教授	
	木下 庸子	建築家・工学院大学教授	矢森 真人	福島民報社代表取締役副社長	

総 評

福島県建築文化賞は、昭和57年に創設され、東日本大震災後の2年間の中断を挟み本年度で36回目を迎える。

今回の応募作品は合計57点で、公共が33点、民間が24点であった。用途別では、福祉・医療施設等が11点と最も多く、次いで庁舎・事務所等が10点、まちなみを形成する建築物群が8点、文化・スポーツ施設等が7点、学校教育施設が5点、商業施設等、複合施設が各4点、共同住宅が3点、工場等、古い建築物の修復が各2点、観光・宿泊施設が1点であった。地域別では、中通り28点、浜通り16点、会津13点となった。特に認定こども園や道の駅、県産材を活用した建築に意欲的な作品が多く見られた。

一次（書面）審査は8月20日に公開で行われ、現地審査対象を選出した。審査会では賞の趣旨、意義を改めて確認した後、各委員が応募書類、図面、写真をもとに評価を行った。審議では、はじめに全員が全体的な感想、評価を述べ、推薦作品を投票した。過半数の票を得た7作品を選定し、その後、得票のあった作品について議論を重ねた。その結果、現地審査対象として15作品を全会一致で選定した。

二次（現地）審査は10月7日から9日までの3日間にわたって実施し、現地で応募者からの説明を受け質疑応答を行った。後日、各審査委員が正賞、準賞、優秀賞候補として5点、特別部門賞候補として3点、復興賞候補として3点を選び、選定理由と全作品に対するコメントを提出した。

最終審査は11月11日に全審査委員が出席して行われた。全員が現地審査を通じた印象と評価の観点について述べた後、授賞作品の選考に入り、事前投票の集計結果と各審査委員の推薦理由をもとに、建築の意匠・機能性、周辺環境との調和、木材の活用や既存建物の改修等の社会に対する提案性、東日本大震災からの復興に対する貢献など、賞の多面的な評価基準に照らして議論を重ねた。各作品は規模、用途、計画・建設条件等が異なることから、選考には困難が伴ったが、本賞の趣旨、評価基準に照らして、最終的に全会一致で、下記のとおり正賞1点、準賞1点、優秀賞3点、特別部門賞3点、復興賞3点が選定された。

■正賞

『天正坦のアトリエ』は、住宅地の中に残されていた場所に立つ設計事務所のアトリエである。緩やかな傾斜地という敷地形状を活かし、床レベルを変えることで一つの切妻屋根の下にボリュームに変化のある4つの空間が配置されており、建築の構成、ディテールから家具に至るまで丁寧に造り込まれ、居心地のよい空間が密度高く生み出されている。外に開かれた開放的な空間、隣接する住宅や菜園と調和したランドスケープがあいまって、周辺環境に配慮して建築を造ることが、場の風景や環境の質を高める力を持つことを伝えてくれる。

■準賞

『認定こども園 なこそ幼稚園』は、住宅地の間を縫うような敷地に、形状や周囲との関係が異なるそれぞれの場所にはめ込むように保育室等が配置され、周囲の住宅のスケールに馴染んだ建築となっている。LVLの厚板連続構造壁で囲まれ、明るくて温かみのある空間、天井高の違う変化のある空間が奥行き深く連なる様子からは、子どもの不思議の世界に足を踏み入れたような感覚となる。震災後の地域の子育て支援の場の在り方について、長い期間をかけて計画がまとめられている点も特筆できる。

■優秀賞

『ふたば富岡社屋』は、企業が地元の復興に寄与すべく建設した社屋で、開放的に設けられた会議室は復興の市民活動拠点となり、保有林の材の活用により発信力の高い建築となっている。縦ログ構法、歩留まりの高い使用方法等、地元の林業・木材産業の再生のために長年取り組んできた設計者らの努力が結実した作品としても高く評価できる。

『認定こども園 りのひら』は、シュタイナー教育の考え方をベースに、一つ一つ異なる平面と色彩をもつ保育室、ホール、その他の諸室が、敷地の形状や高低差に合わせて巧みに配置されている。木造で温かみと変化のある廊下や高低差のある外部空間とともに、子どもたちと空間の多様な関係性を演出している。

『南会津町庁舎』は、基幹産業である林業のより一層の振興に取り組む町の庁舎であり、また地域の人々の活動拠点となっている。多くの人々の協働の成果として実現されており、内装には場所に応じて様々な種類の町産材をふんだんに用い、地元の職人・技術を集結して、地域の生活文化に対する誇りを形にした建築となっている。

■特別部門賞

『鈴木家主屋』は、解体保存されていた町指定有形文化財である民家を再生したものである。歴史的建造物の保存・公開というだけでなく、「郷土教育の場」、「情報発信の場」、「まちなかのにぎわいの場」として身近な交流スペースに生まれ変わらせ、若者を含め日常的に活用されている。

『マイタウン白河(中心市街地市民交流センター)』は、市の中心市街地活性化プランの一環として、旧大型商業施設を市民交流センターに再生したもので、活動の場の提供に止まらず、階段室を開放的にしたり吹き抜けを設けたりして通りからの見通しを確保し、通り抜け通路を設けて人の動きを生み出すなど、地域を見据えた計画は地方都市の空き店舗のリノベーションの好例と言える。

『喰丸小』は、歴史的価値が認められた建築の保存ではなく、戦前のごく普通の校舎を村民の心の拠り所として、もとの材を生かしながら保存改修したものである。クラウドファンディングにより資金が集められ、周囲の山並みや校庭の銀杏と調和した校舎は、日本人に懐かしい学校風景を伝えている。

■復興賞

『山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」』は、原発事故による避難指示が解除された地区に帰還した居住者の生活支援、コミュニティ再生のための拠点施設として計画され、小売店や食堂、役場等の機能を複合している。ランドマークとなる緩やかにカーブし、分節された屋根に囲まれた屋外広場はイベント会場として外部からの人々との交流を生み出している。

『東洋学園 児童部・成人部』は、原子力災害で被災した知的障害の児童と成人の住まう福祉施設である。多世代と一緒に暮らす一体感のある空間構成や生活と管理の両面からの機能的な配置、平屋による内外の連続的な空間配置、県産材の活用等に取り組んでいる。住み慣れた既存施設を出て再出発するのに相応しい環境がつけられている。

『復興公営住宅 勿来酒井団地』は、標準住戸プランに従い、街区設計が示されている条件の中で、コミュニティロードとフットパスの両面に住み手の顔が向くように玄関まわりを計画し、また間にCOMMON・スペースを設けるなどコミュニティ形成を促す工夫をしている。地域材の積極的な活用や建設プロセスや製作への地元高校生の参画など、地域力を生かす提案も評価に値する。

現地審査対象となり、惜しくも選外となった作品にも、本賞の趣旨に照らしてそれぞれ見どころがあり受賞作品に劣らない評価を得ていた。

『九品寺こども園』は、外周部に設けられた回廊やネット遊具等、園全体が運動施設というコンセプトが建築化され、シャープで透明感のある外観が、街に溶け込むデザインとなっている。

『旧脇本陣柳屋旅館』は、約200年前の建設当時の仕様や細部の意匠を考証して活かし、その価値を市民に伝え、宿場町白河の歴史の厚みを示す保存改修であり、NPOの活動と共に評価に値する。

『いいたて村の道の駅 まてい館』は、避難指示解除後の村民の日常生活利便施設として計画され、農業のテーマから花かごをイメージした木造トラスの塔が昼も夜も復興のシンボルとなっている。

『ふくしま国際医療科学センター 災害医学・医療産業棟』は、熱負荷の低減を図るためのダブルスキンの外壁に透明度の異なるシートを貼り分け、キャンパスに印象的な外観を生み出している。

本年の応募作品には、所謂大型の公共建築ではなく、地域に根差した、また地域を支える建築が多かった。これらの建築は、建築主、設計者、施工者の地域の歴史、風土、文化に対する理解、復興に対する思いをもとに生み出されている。生み出された建築物は、コミュニティの形成や再生、様々な文化活動を生み出す社会的基盤として地域の人々に使われ、時を重ねることで愛着が深められ、より地域に根ざした建築となり、やがて生活や風景の一部となる。その積み重ねにより、福島県の建築文化が形作られていく。

現地審査では、設計、施工、管理・運営のそれぞれの関係者から、作品に込めた想いを熱く語っていただいた。それらを通して歴史や伝統として次の世代に継承させていかなければならないものや、令和という新しい時代の中で新たに生み出していかなければいけないものについて改めて考えさせられた。今回の受賞作品を通じて、県民の皆様にも同じ思いを共有し、地域の歴史や風土、文化等を大事にした建築、地域づくりを進めるための機会として頂ければ幸いである。

最後に、今回御応募いただいた関係者に対して、審査委員一同深く敬意と謝意を表します。

審査委員長 長澤 悟

◆ 建築文化賞



撮影:宮本和義

天正坦のアトリエ …………… 郡山市

(建築主)阿部直人
(設計者)有限会社阿部直人建築研究所
(施工者)信和建設株式会社

事務所建築であるが、住宅地の景観にあわせた一つの切妻屋根の下に、緩やかな傾斜地という敷地形状を活かして、床レベルを変えることでボリュームに変化のある4つの空間を内包している。内部は構造要素からディテール、建具、家具に至るまできめ細かくデザインされ、居心地のよい空間となっている。一方、屋外のウッドデッキ、芝生の前庭、植栽等、隣接する住宅や菜園と調和したランドスケープは、周辺環境に配慮して建築を造ることが生活の風景を生み、地域の環境の質を高める力を持つことを伝えてくれる。設計者自身が建築主というステークホルダーの少ない計画であるが、場所性を生かし、建築文化に寄与しようとする姿勢が感じられる作品である。

の 紹 介

◆ 建築文化賞準賞



撮影:矢野紀行

認定こども園 なこそ幼稚園 …………… いわき市

(建築主) 学校法人勿来中野学園
(設計者) 株式会社川島真由美建築デザイン
(施工者) 常磐開発株式会社

住宅地の間を縫う不整形な敷地に対し、形状や周囲との関係が異なるそれぞれの場所にはめ込むように、天井高が異なる保育室等を配置しており、多様な形の共用部や視線の「抜け」が変化のある空間を生み出している。一方、外観はシンプルな形態とし、高さを抑えることにより、周囲の住宅のスケールによく馴染んでいる。LVLの厚板連続構造壁で囲まれた明るくて温かみのある空間が奥行き深く連なり、家具設計とあいまって子どもの不思議の世界を生み出している。震災後の地域の子育て支援の場の在り方について、長い期間をかけて関係者が考え抜いた成果がここにある。

(順不同)

◆ 優秀賞

ふたば富岡社屋…………… 富岡町
 (建築主) 株式会社ふたば
 (設計者) 株式会社はりゅうウッドスタジオ
 (施工者) 東北工業建設株式会社

故郷に対し強い思いを持つ企業が地元の復興に寄与すべく建設した社屋で、開放的に設けられた会議室は復興の市民活動拠点となってきた。建設に当たり、建築主の家に代々受け継がれてきた森から切り出した木材を構造材や仕上げ材、家具に至るまで使い尽くし、木の魅力が実感できるシンプルで質の高い空間が実現されている。縦ログ構法、歩留まりの高い材の使用方法等、地元の林業・木材産業の再生のために長年取組んできた設計者らの努力が結実した作品としても高く評価できる。地域に根ざした企業が復興を支援、推進していることを強く発信する建築である。

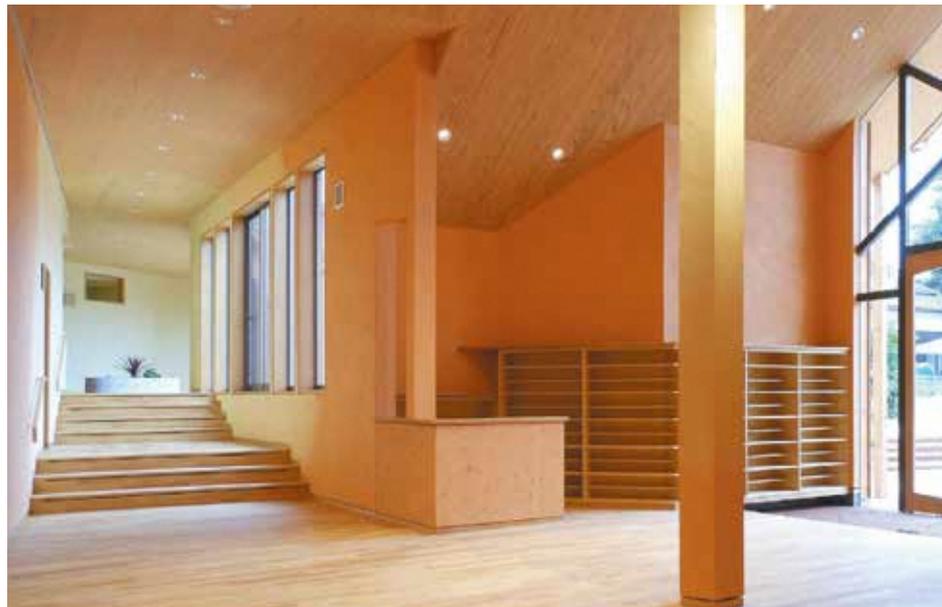


撮影:新建築社写真部

◆ 優秀賞

認定こども園 りのひら…… 須賀川市
 (建築主) 学校法人熊田学園
 (設計者) Lemniskate 1級建築士事務所
 (施工者) 王子建設株式会社

シュタイナー教育の考え方をベースに、一つ一つ異なる平面と色彩をもつ保育室、ホール、その他の諸室が、敷地の形状や高低差に合わせて巧みに配置されている。廊下空間に設けられた大小様々なアルコーブ(凹み空間)が子どもたちのよい遊び場・居場所となっており、見え隠れも楽しい。平面的にも断面的にも新鮮な変化に富み、木造の温かみをもった室内空間、上から見下ろしても下から見上げて楽しく、子どもの動きを誘発する外部空間があいまって、子どもと空間の多様な関係性を演出し、豊かな保育空間が実現されている。

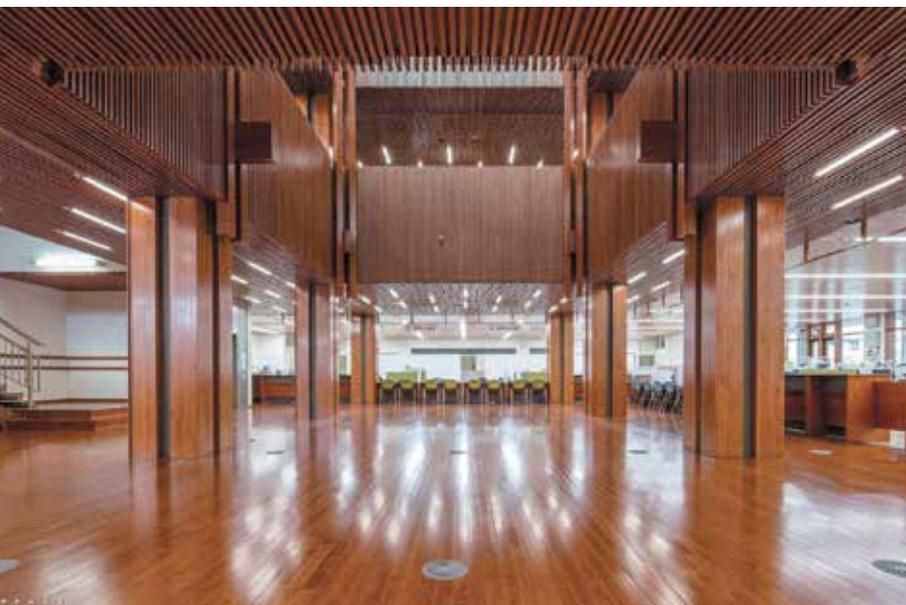


撮影:岩橋亜希菜

◆ 優秀賞

南会津町庁舎…………… 南会津町
 (建築主) 南会津町
 (設計者) 株式会社青島裕之建築設計室
 (施工者) 東邦・大桃・金子特定建設工事共同企業体(建築)
 和泉・阿部・カヅミ特定建設工事共同企業体(電気)
 会津ガス・保科管工業特定建設工事共同企業体(空調)
 株式会社光和設備工業所 田島営業所(給排水)

広大な森林を有し、基幹産業である林業・林産業の一層の振興に取り組む町の庁舎らしく、多様な地元材の活用の可能性や大工をはじめ職人技術を示す拠点となることを基本コンセプトに、多くの人々の協働の成果として実現されている。内装には場所に応じて様々な種類の町産材を適材適所で用い、特に中央の吹き抜けホールは光の効果とあいまってダイナミックな木の空間となっている。コミュニティの自治を育む拠点として各所に町民の活動や協働の場を設け、また、再生可能エネルギーの採用による維持管理コストの配慮等の工夫が行われており、地域の生活文化に対する想いを形にした建築となっている。



の 紹 介

(順不同)

◆ 特別部門賞

鈴木家主屋…………… 石川町
(建築主) 石川町
(設計者) 有限会社溝井宇一建築事務所
(施工者) 株式会社福産建設

町指定有形文化財である民家の解体保存されていた建物を、歴史考証を踏まえて丁寧に修復再生したものである。歴史的建造物の保存・公開として大きな意義があるが、それに止まらず、地域の歴史文化と伝統的な工法を将来にわたり伝える「郷土教育の場」、観光資源等を発信する「情報発信の場」、誰もが集う「まちなかのにぎわいの場」として、観光客が訪れる一方、日常的に高校生が利用しているという、言わば地域の臍となる身近な交流スペースに生まれ変わらせている点は高く評価できる。



◆ 特別部門賞

マイタウン白河
(中心市街地市民交流センター) …… 白河市
(建築主) 白河市
(設計者) 有限会社桂設計+株式会社青木茂建築工房
(施工者) 株式会社兼子組

市の中心市街地活性化プランの一環として、街の中心部にある旧大型商業施設を市民交流センターに再生したもので、地方都市における空き店舗のリノベーションの好例と言える。旧奥州道路からの見通しを遮っていた階段室を開放的にし、中央の床スラブを抜いて吹き抜けを設けることにより空間に一体感を持たせ、地下まで自然光が降り注ぐ明るい空間に改造し、幼児、中高生、高齢者等、世代を超えた人が日常的に過ごす居心地のよい交流施設となっている。南側に新たに出入口を設け、通り抜け空間とすることにより人の動きを生み出すなど、街の核として総合的な計画がなされていることは高く評価できる。

◆ 特別部門賞

喰丸小… 昭和村
(建築主) 昭和村
(設計者) 有限会社和泉設計
(施工者) 金子建設株式会社

公けに歴史的・文化的価値が認められた学校建築の保存ではなく、戦前のごく普通の校舎を、村民の心の拠り所として保存改修したものであり、関係者の決断をまず評価したい。外観を残しつつ、当時の仕上げ材を再利用するなど、補修方法や耐震改修方法、建築基準法への適合等について様々な工夫を重ねて実現した設計者の熱意と努力が伝わってくる。クラウドファンディングにより広く資金が集められ、誰にも懐かしい日本の学校風景を周囲の山並みや校庭の銀杏と調和した校舎が伝えている。



受賞作品の紹介

(順不同)



◆ 復興賞

山木屋地区復興拠点商業施設

「とんやの郷」…………… 川俣町

(建築主) 川俣町

(設計者) 株式会社社設計

(施工者) 古俣工務店・香野建設特定建設工事共同企業体
(造成・建築)

安斎土木株式会社 川俣支店(舗装)

原発事故による避難指示が解除された地区に帰還した居住者の生活支援、コミュニティ再生のために設けられた施設で、小売店や食堂、役場等の幅広い機能を複合している。地域の復興に対する行政の思いに設計者が応え、その意を受けて施設管理者が運営を行うという、三者協働により生き生きとした施設となっている。円弧状の建物の上に乗る勾配屋根とフラット屋根が交互に織りなすリズムカルなスカイラインが、周囲の景観に溶け込むと同時にランドマークともなっている。その建物に抱かれた屋外広場はイベント会場として、住民と外部からの人々との交流を生み出している。

◆ 復興賞

東洋学園 児童部・成人部…………… いわき市

(建築主) 社会福祉法人福島県福祉事業協会

(設計者) 株式会社永山設計+

株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ
設計共同企業体

(施工者) 鹿島建設株式会社 東北支店

原子力災害で被災した知的障害の児童と成人の住まう福祉施設である。地元の三和産杉材を全体に使用した平屋建ての内部空間は、入居者を温かく包み込んでおり、それまで住み慣れた施設から出て再出発するのにふさわしい居住環境を用意している。開放的なユニット配置と中庭を囲み視覚的な連続性をもたせた空間構成は、多世代、男女の居住者が一体感をもって一緒に暮らす場として、生活と管理の両面から評価できる。他の地域でも、地元の材を生かしながら、入居者、職員の目線に立つて質の高い空間を持つ一連の施設づくりを進めてきた設置者およびその意を受けて取り組んできた設計者、施工者に敬意を表したい。



◆ 復興賞

復興公営住宅 勿来酒井団地…………… いわき市

(建築主) 福島県

(設計者) 有限会社辺見設計

(施工者) 藤田建設工業株式会社

標準住戸プランが示され、街区設計が決められているという条件の中でも、家づくりでなく地域づくり、県産材の活用という思いをもって取り組み、実現した設計者・施工者の努力をまず評価したい。住戸群をはさむコミュニティロードとフットパスの両面に住み手の生活・意識が向くように玄関まわりと縁側を配置し、節目となる位置に交流の場となるコモン・スペースを設けるなど挨拶が交わしやすい空間構成が図られている。1階部分の外壁には県産杉材を積極的に用い、気持ちが和む住宅地景観を生み出している。計画や樹木に据える巣箱の製作、維持管理等に地元高校生が参画するなど、地域力を育てる取り組みも評価に値する。



第36回福島県建築文化賞



社会福祉法人ライフ・タイム・福島
有限会社湧設計
株式会社安藤組



福島県
株式会社安井建築設計事務所
青木あすなる建設株式会社(建築)
大槻電設工業株式会社(電気設備)
温調・倉島特定建設工事共同企業体(機械設備)



認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会
株式会社内田建築設計事務所
菅野建設株式会社



伊達市
福島県建築設計協同組合
担当:株式会社田畑建築設計事務所
株式会社晃建設(建築)
齋藤電建工業株式会社(電気設備)
日栄工業株式会社(機械設備)



学校法人尚志学園
有限会社桂建築設計事務所
佐藤工業株式会社



伊達市
福島県建築設計協同組合
担当:株式会社ティ・アール建築アトリエ
佐藤・渡辺・酒井東栄特定建設工事共同企業体(建築)
大槻・鈴電・やまぎ特定建設工事共同企業体(電気設備)
文化・東洋・伊達特定建設工事共同企業体(機械設備)



宗教法人長楽寺
株式会社安藤組建築設計事務所
株式会社安藤組



国土交通省
伊達市
株式会社中山建築研究所
佐藤建設株式会社(建築)
齋藤電建工業株式会社(電気・機械設備)



株式会社亀岡工務店
株式会社設計室NOAH
株式会社亀岡工務店



学校法人まゆみ学園
株式会社社設計
菅野建設工業株式会社



公立大学法人福島県立医科大学
株式会社日建設計
佐藤・菅野・安藤特定建設工事共同企業体(建築)
株式会社エティソン(電気設備)
北関東・八ッ橋特定建設工事共同企業体(機械設備)



国見町
有限会社フォルム建築計画
株式会社晃建設・株式会社渡辺建設
共同企業体

応募作品一覧（受賞作品以外）

川俣町役場新庁舎



川俣町
株式会社田畑建築設計事務所
奥村・古俣特定建設工事共同企業体

浅川町立 あさかわこども園



浅川町
株式会社鈴木伸幸建築事務所
三金興業株式会社

郡山市 Forest バン源田



郡山市
熊田美子
熊田広治
有限会社村井淳建築設計事務所
株式会社白岩工務店

福島県中央家畜保健衛生所



玉川村
福島県
株式会社清水公夫研究所
陰山建設株式会社

郡山市立橘小学校屋内運動場



郡山市
株式会社山口建築設計事務所
依屋建設工業株式会社

旧脇本陣柳屋旅館 ★



白河市
特定非営利活動法人 しらかわ建築サポートセンター
株式会社鈴木建設

郡山市 学校法人堀内学園 幼保連携型認定こども園 菜根こども園



郡山市
学校法人堀内学園 富岡幼稚園
有限会社辻見設計
株式会社蔭山工務店

西郷村 医療法人社団博英会 かねこクリニック&カナハ



西郷村
医療法人社団博英会
株式会社佐藤総合計画 東北オフィス
三金興業株式会社

郡山市 株式会社 三万石 第二工場



郡山市
株式会社三万石
株式会社久米設計 東北支社
佐藤工業株式会社

棚倉町 社会福祉法人棚倉保育園



棚倉町
社会福祉法人棚倉保育園
株式会社鈴木伸幸建築事務所
藤田建設工業株式会社

須賀川市 ネットヨタ郡山株式会社 須賀川店



須賀川市
ネットヨタ郡山株式会社
株式会社杜設計
荒牧建設株式会社

建築物名称 ★印：第一次審査通過作品

所在地

建築物全景

(建築主)
(設計者)
(施工者)

第36回福島県建築文化賞

会津若松市

会津若松市立河東学園中学校



会津若松市
株式会社白井設計
株式会社共立土建(教室棟)
秋山ユアビス建設株式会社(管理棟)
株式会社南会西部建設コーポレーション(屋内運動場)

喜多方市

喜多方市 新塩川総合支所



喜多方市
株式会社田畑建築設計事務所
小野瀬工業株式会社

会津若松市

神明通りアーケード



神明通り商店街振興組合
株式会社白井設計
木村・日米アートム特定建設工事共同
企業体

喜多方市

喜多方市 山都総合支所



喜多方市
株式会社山下設計 東北支社
福島事務所
株式会社唐橋(建築)
星電気工事株式会社(電気設備)
小野瀬工業株式会社(機械設備)

会津若松市

復興公営住宅 城北団地



福島県
有限会社荒川建築設計事務所
会津土建株式会社

磐梯町

磐梯町ふれあいセンター



磐梯町
株式会社フジタ東北支店
一級建築士事務所
フジタ・弓田建設
特定建設工事共同企業体

会津若松市

復興公営住宅 白虎町団地



福島県
有限会社和泉設計
佐久間建設工業株式会社

只見町

ふるさと館「田子倉」



只見町
株式会社清水公夫研究所
有限会社梁取工務店(建築・機械設備)
株式会社メグロデンキ(電気設備)

湯川村

Neo-Trrad 湯川



福島県CLT推進協議会
株式会社日本システム設計
会津土建株式会社

檜枝岐村

尾瀬檜枝岐山旅案内所



檜枝岐村
株式会社清水公夫研究所
株式会社南会西部建設コーポレーション

会津美里町

リアンヴェール美里



社会福祉法人平成会
有限会社小坂建築設計工房
小柳・五十嵐
特定建設工事共同企業体

相馬市

相馬市民会館



相馬市
綜企画設計株式会社
フジタ・小野建設・中村土木
特定建設工事共同企業体

応募作品一覧（受賞作品以外）



相馬市

相馬市
有限会社桂建築設計事務所
株式会社小野中村



飯舘村

飯舘村
株式会社関・空間設計
庄司建設工業株式会社



相馬市

福島県
株式会社中部設計
庄司・フジタ特定建設工事共同企業体
小野・フジタ特定建設工事共同企業体



いわき市

学校法人杜の子学園
株式会社ジャクエツ一級建築士事務所
福浜大一・作山
特定建設工事共同企業体



南相馬市

南相馬市
株式会社社設計
後藤建設工業株式会社



いわき市

学校法人明照学園 九品寺こども園
株式会社アトリエ9建築研究所+株式会社ジャクエツ一級建築士事務所
株式会社渡辺組



広野町

馬場医院
株式会社永山建築設計事務所
常磐開発・西本建設
特定建設工事共同企業体



いわき市

福島県
ふくしまCLT木造建築研究会(木あみ)|株式会社白井設計、株式会社邑建築事務所、株式会社日本システム設計+青島啓太
会津土建・渡辺組・菅野建設・山木工業
特定建設工事共同企業体



浪江町

浪江町
有限会社寿設計
横山・佐藤商事特定建設工事共同企業体
相双電気株式会社
双葉設備工業株式会社 浪江支店



いわき市

福島県
株式会社山設計工房(全体基本設計、1~3号棟実施設計)青木あすなろ・常磐開発建設工事共同企業体(4~9号棟、集会所実施設計及び施工)
鹿島・クレハ錦建設工事共同企業体(10~16号棟実施設計及び施工)
加地和・三浦電気工事・北関東空調復旧・復興建設工事共同企業体(1号棟施工)
加地和・大和電設・北関東空調復旧・復興建設工事共同企業体(2、3号棟施工)



新地町

石油資源開発株式会社
日揮株式会社
日揮株式会社

所在地

建築物名称 ★印：第一次審査通過作品

建築物全景

(建築主)
(設計者)
(施工者)

受賞作品の位置図

第1回～第36回

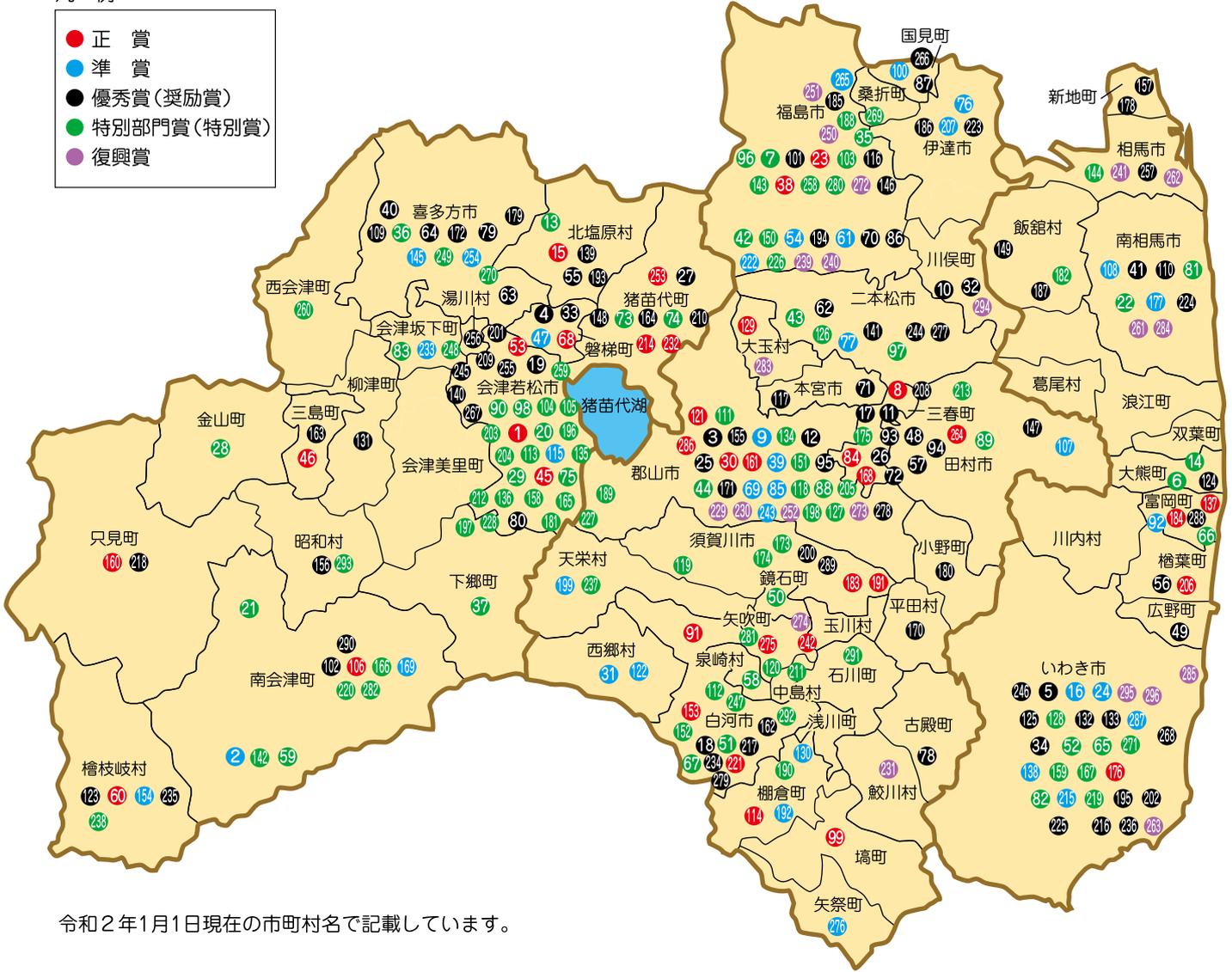
会津地方

中通り地方

浜通り地方

凡例

- 正賞
- 準賞
- 優秀賞(奨励賞)
- 特別部門賞(特別賞)
- 復興賞



令和2年1月1日現在の市町村名で記載しています。

入賞作品一覧

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
57	1	74件	① 鈴善煉瓦蔵・髯の辻大津加本店による街並	② 大宮市立自然の家(舘岩村所在)	③ 郡山市立図書館・視聴覚センター ④ 磐梯町役場庁舎 ⑤ いわき市立総合体育館	⑥ 大熊町役場庁舎 ⑦ ニュー福ビル
58	2	31件	⑧ 特別養護老人ホームあぶくま荘	⑨ 学校法人郡山開成学園つつじ館	⑩ 川俣町中央公民館 ⑪ 三春町民体育館 ⑫ 共同住宅アピタシオン・桑野、シャトー・アナザワ	⑬ 北塩原村役場庁舎・コミュニティセンター ⑭ 大熊町立大野小学校

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
59	3	43件	15 裏磐梯高原ホテル	16 福島県いわき工業試験場	17 三春第一保育所 18 呉服・上の片野屋 19 河東町役場庁舎	20 輪箱めし田季野 21 南郷体育館 22 小高町立病院・小高町老人福祉センターによる街並
60	4	18件	23 福島ホール（音楽堂、働く婦人の家、勤労青少年ホーム）	24 いわき市立美術館	25 クローネ郡山 26 三春町歴史民族資料館 27 日立健保猪苗代保養所	28 金山町多目的研修センター 29 上菓子司会津菜本店
61	5	35件	30 郡山市民文化センター	31 信越半導体株式会社 白河工場	32 川俣町立川俣南小学校 33 磐梯町公民館 34 報徳苑	35 文化施設環境整備協力事業 36 会津信用金庫喜多方支店 37 下郷町町並み展示館
62	6	41件	38 福島県立美術館・図書館	39 開成柏屋	40 山都町立山都中学校 41 夜の森パークサイドテラス	42 ラジオ福島スタジオ 43 霞ヶ城箕輪門 44 郡山開成学園建学記念講堂
63	7	43件	45 福島県立博物館 46 三島町生活工芸館	47 磐梯山慧日寺資料館	48 船引町立船引中学校 49 広野町立広野小学校	50 鏡石町コミュニティセンター 51 日本ルセル株式会社白河工場 52 いわき明星大学
元	8	34件	53 会津藩校日新館	54 日本ベクトン・ディッキンソン福島工場	55 磐梯山噴火記念館 56 楢葉町サイクリングターミナル 57 わかくさ幼稚園	58 泉崎村立泉崎中学校 59 舘岩村立舘岩村中学校
2	9	50件	60 檜枝岐村尾瀬の郷交流センター・檜枝岐村民体育館	61 福島市古閑裕和記念館	62 グリーンピア二本松 63 塩川町立堂島小学校 64 喜多方下田郵便局	65 ウッドピアいわき 66 富岡町野外活動センター 67 南湖公園公衆トイレ
3	10	39件	68 栄川酒造株式会社 磐梯工場	69 郡山ユラックス 熱海	70 福島市信夫支所及び信夫公民館 71 白沢村ふれあい文化ホール 72 三春町中郷学校	73 本田技研健康保険組合健康増進センターいなわしろ荘 74 ホテルブルミエール箕輪 75 大川荘「宵待亭」
4	11	45件		76 梁川町役場庁舎 77 二本松市城山総合体育館	78 古殿町役場庁舎 79 福島地方法務局喜多方出張所 80 会津若松市立第二中学校	81 東北電力株式会社総合技術訓練センター 82 割烹谷口楼 83 会津西部斎苑
5	12	31件	84 三春町立桜中学校	85 福島県ハイテクプラザ	86 アメニティふくぎん'91 87 森江野小学校校舎並びに森江野幼稚園園舎	88 ホテルハマツ 89 常葉町こどもの国ムシムシランド 90 株式会社江戸屋重度障害者多数雇用事業所
6	13	78件	91 中山義秀記念文学館	92 富岡町役場庁舎・保健センター	93 三春町・船引町学校組合立要田中学校 94 船引町文化センター 95 郡山市立美術館	96 青少年教育宿泊研修施設（立子山自然の家） 97 岩代町図書館 98 会津名匠華蔵・神禧堂 薬館・山葵
7	14	68件	99 塙町コミュニティプラザ・塙町立図書館	100 国見町観月台文化センター	101 福島市国体記念体育館 102 御蔵入の里	103 鯖湖湯 104 会津葵シルクロード文明館 105 パーラーぼたん
8	15	65件	106 福島県立南会津病院	107 都路村役場庁舎 108 福島県立浜高等技術専門学校	109 喜多方蔵の里 110 野馬追の里歴史民俗資料館	111 四季彩一力 112 松楽亭（翠楽苑） 113 渋川問屋別館

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
9	16	62件	114 棚倉町文化センター	115 会津ガス本社ビル	116 社会福祉法人福島愛育園 117 本宮体育館	118 くに屋 119 水と緑のふれあいランド 120 JR 矢吹駅+周辺計画
10	17	59件	121 太田総合病院附属老人保健施設桔梗	122 白河光彩荘	123 尾瀬御池ロッジ・尾瀬櫛の森ミュージアム 124 大熊町図書館 125 福島県いわき海浜自然の家	126 福島介護福祉専門学校 127 学校法人郡山開成学園創学館 128 木のまち里山
年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優秀賞(賞名変更)	特別部門賞
11	18	63件	129 ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」	130 棚倉町立社川小学校	131 やないつ町立斎藤清美術館 132 いわき市立草野心平記念文学館 133 いわき市健康・福祉プラザ「いわきゆったり館」	134 アドミラル 135 福西本店(福西本店、大町ガス燈、大坂屋伊兵衛) 136 七日町通り下の区町並み協定地区内
12	19	60件	137 リフレ富岡	138 いわき市暮らしの伝承郷	139 諸橋近代美術館 140 北会津村役場庁舎 141 あだたら清流センター	142 前沢曲家集落 143 ヘアーサロン三角ビル 144 IHI 相馬工場
13	20	66件		145 有限会社蔵見世	146 梅苑会館 147 グリーンパーク都路「草原の家やすらぎ」 148 福島県ばんだい荘 149 特別養護老人ホーム「いいたてホーム」	150 福島ルンビニー幼稚園 151 中町再開発ビル(郡山中町第一地区第1種市街地再開発事業施設建築物) 152 JR東日本総合研修センター
14	21	69件	153 福島県文化財センター白河館まほろん	154 檜枝岐村地域資源活用総合交流促進施設「燧の湯1号館」	155 特別養護老人ホーム玉川ホーム(増築) 156 からむし織の里(からむし工芸博物館・織姫交流館) 157 新地町立駒ヶ嶺小学校	158 史跡若松城跡 干飯櫓・南走長屋 159 アクアマリンふくしま
15	22	55件	160 只見町立只見小学校 161 福島県立郡山養護学校		162 東村保健福祉センター 163 尾瀬街道・三島宿 164 猪苗代町立東中学校	165 プリスクール水輝 166 御蔵入の里 会津山村道場 森の体験館 167 安濃胃腸科内科医院
16	23	56件	168 三春交流館まほら	169 柏屋	170 太田看護専門学校 171 特別養護老人ホームよもぎ荘 172 福島県営住宅東桜ガ丘団地	173 なのはな保育園 174 須賀川市立西袋中学校屋内運動場 175 秋田山 龍福院 庫裡・書院
17	24	68件	176 福島県立いわき光洋高等学校	177 特別養護老人ホーム梅の香	178 新地町役場庁舎 179 田原屋菓子店 180 小野町火葬場「おの悠苑」	181 七日町駅(JR只見線) 182 公営住宅笠石団地
18	25	73件	183 福島エコムスパピリオン・SUS福島工場 184 富岡町文化交流センター「学びの森」		185 飯坂支所・飯坂学習センター 186 伊達市役所・保原総合支所(旧保原町役場) 187 飯館村立飯樋小学校	188 福島市岡鶴太郎美術館庭園「松鶴苑」 189 郡山市立湖南小学校 190 集いの小径
19	26	63件	191 SUS福島工場社員寮	192 棚倉の茶界「Cafe'sBond 141」	193 裏磐梯ビジターセンター 194 福島県消防学校 195 ハニーズ社員寮	196 農業併用住宅(栗城邸) 197 大内の御柱物語 198 郡山市立三穂田中学校体育館
20	27	56件		199 浦和ルーテル学院山の上学校	200 須賀川市立仁井田中学校屋内運動場 201 会津若松市立河東学園小学校 202 いわき明星大学薬学部棟	203 会津東山温泉 御宿東鳳 204 原瀧・今昔亭 川床 205 特別養護老人ホームハーモニーみどりヶ丘

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優 秀 賞 (賞名変更)	特別部門賞
21	28	51 件	216 楢葉町立あおぞらこども園	217 御代田コミュニティセンター	218 MARUWA QUARTZ 三春工場 4号棟 219 よつば cafe 220 猪苗代町立緑小学校・屋内運動場	221 中島村生涯学習センター「輝ら里」 222 県営住宅八日町団地 223 移の丘のトイレ
22	29	56 件	224 猪苗代町体験交流館「学びいな」	225 白ばら幼稚園	226 高野山真言宗冷泉寺 227 作楽(さくら) 228 只見町立明和小学校	229 いわき平競輪場 230 雪国型 広域中山間地医療施設あべクリニック

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優 秀 賞	特別部門賞	復 興 賞
25	30	52 件	229 白河市立図書館	232 長楽寺禅堂	235 伊達市立保原小学校 234 南相馬市立中央図書館・市民情報交流センター 235 いわき幼稚園	236 飯坂温泉「旧堀切邸」 237 アドリア 北出丸カフェとその周辺地域 238 会津能楽堂	239 郡山総合運動場 開成山野球場 240 「ロハスの家」群 241 村民保養施設 さぎり荘
26	31	30 件	232 猪苗代のギャラリー	233 会津坂下町立坂下東幼稚園	234 認定こども園 ぼだい樹西こども園 西保育園 235 尾瀬書美術館「思郷館」 236 いわき芸術文化交流館アリオス	237 地形舞台 238 檜枝岐歌舞伎伝承館千葉之家	239 福島トヨタ自動車株式会社 本社 240 浪江 in 福島ライブラリー きぼう 241 相馬井戸端長屋
27	32	50 件	242 矢吹町立矢吹中学校	243 菊池眼科	244 二本松市立とうわこども園 245 アルテマイス ター保志 246 かなや幼稚園	247 IDCフロンティア 福島白河データセンター 248 会津坂下町 気多宮街なみ交流センター 249 喜多方 地域・家庭医療センター「ほっと☆きらり」	250 桜の聖母学院 幼稚園園舎 251 飯坂温泉 「なかむらや旅館」 252 日本全業工業株式会社 研修管理棟
28	33	52 件	253 はじまりの美術館	254 喜多方市役所	255 Angelica Garden 256 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 257 相馬 こどものみんなの家	258 LARGE LAB TOWN 有限会社 松坂屋商会 259 西会津町立西会津小学校	260 南相馬市 大町東団地・大町西団地 261 LVMH 子どもアートメゾン 262 福島県漁業協同組合連合会 地方卸売市場 小名浜魚市場
29	34	62 件	264 あぶくま更生園	265 宮畑遺跡史跡公園 体験学習施設(じょいもん)	266 国見町庁舎 267 北会津こどもの村 幼保園 268 BLUE MUG COFFEE	269 曙プレーキ福島製造株式会社 桃苑寮 270 喜多方市立熊倉小学校 校体育館 271 福島県買取型復興公営住宅 関船団地	272 飯館村災害公営住宅 飯野町団地 273 K I K 'B 274 矢吹町営 中町第一災害公営住宅
30	35	54 件	275 矢吹町営 中町第二災害公営住宅	276 矢祭町立 矢祭小学校	277 二本松市城山 市民プール 278 郡山へアメイク カレッジ 279 白河文化交流館「コミネス」	280 作左工門 281 大正ロマンの館 282 びわのかけ屋内運動施設 こども投球練習場	283 半勝陶器店 勝義窯 284 南相馬 みんなの遊び場 285 からすや食堂
元	36	57 件	286 天正坦のアトリエ	287 認定こども園 なこそ幼稚園	288 ふたば富岡社屋 289 認定こども園 リのひら 290 南会津町庁舎	291 鈴木家主屋 292 マイタウン白河(中心市街地市民交流センター) 293 喰丸小	294 山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」 295 東洋学園 児童部・成人部 296 復興公営住宅 勿来酒井団地

※市町村名については、作品募集時での名称で記載しています。

第36回福島県建築文化賞 表彰式次第

日 時： 令和2年1月20日(月)
午前11時～
場 所： 杉妻会館 4階 牡丹の間

- | | | | |
|---|---------|---|----------------|
| 1 | 開 会 挨 拶 | 福島県建築士会 会長 | 蛭田 修二 |
| 2 | 経 過 報 告 | 福島県土木部長 | 猪股 慶藏 |
| 3 | 審 査 講 評 | 審査委員長 東洋大学名誉教授 | 長澤 悟 |
| 4 | 表 彰 | 福島県建築文化賞
福島県建築文化賞準賞
福島県建築文化賞優秀賞
福島県建築文化賞特別部門賞
福島県建築文化賞復興賞 | |
| 5 | 主催者代表挨拶 | 福島県知事
福島民報社 代表取締役社長 | 内堀 雅雄
高橋 雅行 |
| 6 | 受賞者代表挨拶 | | 阿部 直人 |
| 7 | 閉 会 挨 拶 | 福島県建設業協会 会長 | 長谷川浩一 |



この印刷物は、再生紙と
地球環境にやさしいベジタブルインクを
使用しています。